

アレクソン AIC200

通信機ディーラーに“旬の商材”を IP電話とISDNビジネスホンを簡単接続

通話料金を大幅に安くするIP電話サービスに対する企業の導入ニーズが高まっている。ネットワーク構築に携わる通信機ディーラーにとっても、ビジネス拡大のために同サービスの取り込みは必須となっている。こうしたニーズに合致する有効商材が、アレクソンが新たに開発した「AIC200」だ。

アレクソン(本社・兵庫県伊丹市、三瀬栄社長)は、VoIP装置とビジネスホンと接続するための機器「AIC200」を開発、2003年2月17日から販売を開始した。AIC200は、“逆TA装置”ともいえるシステムで、これを用いることでISDNビジネスホンと、主装置側のインターフェースがアナログであるIP電話用VoIP装置を直接接続できるようになる。

現在、キャリア、ISP各社によってADSLなどを利用した法人向けIP電話サービスの提供が開始され、通話料金の劇的な削減を実現するIP電話に対する導入ニーズはコンシューマーだけではなく、コスト抑制が急務となっている企業側でも急拡大している。

ここで、企業がIP電話サービスを導入するにあたって課題となっているのが、アナログインターフェースしか保有しないVoIP装置と、デジタルインターフェースのISDN専用ビジネスホンとの接続だ。

通常、ISDN専用ビジネスホンにVoIP装置を接続するためには、新たにアナログ外線ユニットを増設する必要がある。さらに機器の追加だけでは

なく、ビジネスホン本体の設定変更も行わなくてはならず、IP電話サービスを導入することでコスト削減を図るつもりが、設備の追加投資コストに加え、設置工事、設定変更等、余分な費用が発生してしまう。AIC200を採用することにより、この問題を解決できる。

キャリア、ISPから提供されるVoIP装置とビジネスホンとの間に「AIC200」を設置するだけで、「既存ビジネスホンにまったく手を加えることなく、容易にIP電話を利用できるようになる。設定も電話機を使い簡単に行えるので、専門の技術者を必要としない」(アレクソン取締役営業本部長の中嶋康博氏)

相手先に応じ回線を柔軟に変更

AIC200では110番や119番、0120、携帯電話等、IP電話サービスで利用できない番号以外は、自動的にVoIP装置に発信する仕組みになっている。上記の特番についてはAIC200内にあらかじめ登録しており、強制的にISDN回線に発信する。

一般電話からの着信はISDN回線を用いるので、「ダイヤルイン」や「サ



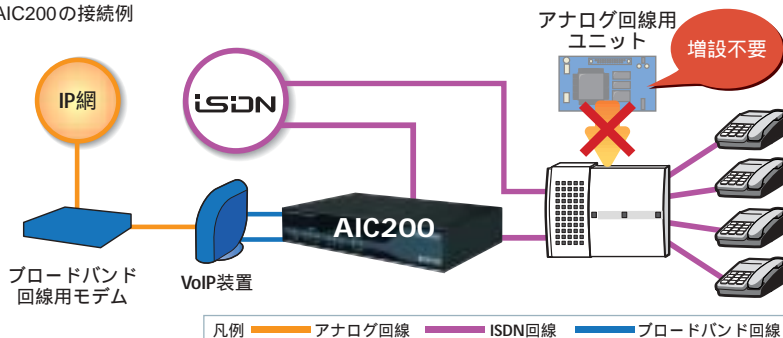
「AIC200」

ブアドレス着信」、「発信者番号通知」等のISDNの付加サービスを利用できる。

さらに、通話相手に応じて一般公衆回線、IP電話サービスのどちらを利用するかをAIC200内で設定できる。重要顧客への発信は通常のISDNを利用し、社内の内線通話はIP電話サービスを利用するといった使い分けもできる。相手先番号数も1000件まで登録でき、中小から大企業まで幅広く対応できる。

ネットワーク機器の提案を行っている通信機ディーラーにとって、IP電話サービスを機器販売に取り込んでいくことはビジネス拡大のための必須事項となっている。煩雑な設定変更や大掛かりなシステム改変を行わず、容易にIP電話を利用できる環境を実現するAIC200は、通信機ディーラーにとって、有効な商材となり得るだろう。

AIC200の接続例



お問い合わせ先

株式会社アレクソン

本社：〒664-0026
兵庫県伊丹市寺本3-207-1
TEL 0727-77-1247
FAX 0727-77-3962
営業本部：〒103-0013
東京都中央区日本橋人形町2-25-13
リンレイ日本橋ビル5F
TEL 03-3667-2276
FAX 03-3667-5329
URL <http://www.alexon.co.jp/>